

平成17年度 京都市電子会議室「みやこeコミュニティ」運営レポート

テーマ名 みやこユニバーサルデザインをみんなで考え、進めよう！進行役名 森本 一成テーマ所管課名(担当者名) 保健福祉局保健福祉部保健福祉総務課 (西尾)

1 電子会議室を実施して収穫のあったと思う点

みやこユニバーサルデザインについて、多くの人に知ってもらうことができた。
インターネット利用者や学生からの意見を多くもらうことができた。
UDの基本であるまちの中や身の回りの「気付き」に関する意見をもらうことができた。

2 電子会議室の問題点、改善すべき点及びその解決方法

電子会議室の存在や積極的な参加をアピールする必要がある。
京都市情報館トップページにバナーを貼って目立たせたり、アクセスの多いページ(京都いつでもコールなど)にリンクを貼ってはどうか。

3 進行役・テーマ所管課としての反省点

ユニバーサルデザインの認知度が低く、関心を集めきることができなかった。
もう少しわかりやすく、身近なテーマにしぼって意見交換を進めても良かったかと思う。

4 その他、意見・感想など

他の自治体などのサイトで、参加者や意見交換が活発な例があれば参考にできないか。
会議室は、双方向のコミュニケーション手段として、引き続き開設していただきたい。

平成17年度 京都市電子会議室「みやこeコミュニティ」運営レポート

テーマ名 「5000万人観光都市・京都」を目指して～新京都市観光振興推進計画～

進行役名 財団法人日本交通公社 中野 文彦

テーマ所管課名(担当者名) 産業観光局観光部観光企画課 (水上 大嗣)

1 電子会議室を実施して収穫のあったと思う点

新京都市観光振興推進計画策定にあたり、パブリック・コメントとは異なる形で、市民意見を聞くことができた。

2 電子会議室の問題点、改善すべき点及びその解決方法

観光という、市民の関心が高いと思われるテーマであったにもかかわらず、寄せられた意見が非常に少なかった。(登録者数16名、発言数16件)

告知手法や期間の延長等によっては、より多くの意見が得られると思われる。例えば、観光業界や、大学生等に広報を行えば、一定の登録者数は確保できたかもしれない。

3 進行役・テーマ所管課としての反省点

発言数が少なかったこともあり、議論を盛り上げていくことができなかった。質問には回答するよりも、議論の活性化を促すような受け答えをすべきであったかもしれない。

4 その他、意見・感想など

観光やまちづくりにおいては、市民が主役となる。今後もこうした機会を増やし、市民参加を促していくことが肝要であり、電子会議室の活性化を期待する。

平成17年度 京都市電子会議室「みやこeコミュニティ」運営レポート

テーマ名 市民が進める京都創生

進行役名 石本幸良

テーマ所管課名(担当者名) 総合企画局京都創生推進室 太田博之

1 電子会議室を実施して収穫のあったと思う点

参加者は24名と期待した程伸びず、アクセスも6651件(平成18年2月21日現在)にとどまったが、行政と市民が情報交換をする場となり、市民の考えを把握したり、行政の取組を紹介することができたため、京都創生の取組に対するPR効果としては、運営費などの費用対効果を考えると問題があるとはいえ、一定の収穫があった。

2 電子会議室の問題点、改善すべき点及びその解決方法

シンポジウムで電子会議室を開設している旨を紹介するチラシを配付したり、口コミで会議室の存在をPRして関心を高めてもらうように努めた。その結果、閲覧者(アクセス件数)は多かったが、参加手続において住所・氏名・パスワードの入力など煩雑な作業が伴うために、会議室の参加にまでは結びつかなかったようである。

まだまだ一般市民レベルではアナログな口コミが基本の情報伝達手段であることが多く、セキュリティを守るための事前確認手法による電子会議室の運営は難しいと思う。

3 進行役・テーマ所管課としての反省点

<進行役>

進行役として個人意見を述べる訳にもいかず、遠慮したことがやや不完全燃焼の大きな原因と思われる。公共の画面であり、個人がリードする訳にはいかないが、一定のフィルターによる制御がかかっているのだから、もう少し論戦の楽しみも必要である。

参加者の一部は市職員と思われる意見であり、よかれとの思いでの発言を否定はしないが、やや迫力にかけるとの要因も含んでいることは考慮すべきと思う。

<テーマ所管課>

京都創生は、景観・文化・観光と多岐にわたるとともに、一般の方にとって難しい内容になってしまいがちであったことも、参加に結びつかなかった要因の一つではないかと思われる。

4 その他、意見・感想など

特になし。